

栃木県立 栃木工業高校

栃木県立栃木工業高校の創立は1962年。モノづくり県の栃木で次代を担う人

材を育てようと、地域貢献や国内外の福祉活動とモノづくりとを融合し、国際感覚を持つ人材の輩出を目指している。職業訓練指導員試験の受験資格が得られる生徒が目標



須釜校長

【DATA】▷校長＝須釜喜一氏▷所在地＝栃木市▷学科構成＝機械科、電気科、電子科、情報技術科▷学生数＝596人▷主要設備＝3軸マシニングセンター(MC)、3Dプリンターなど▷主な進路＝トヨタ自動車、JR東日本、住友電気工業、文星芸術大学、日産自動車大学校など

16年からは同ボードの組み立てキットを小中学校に持ち込み、生徒らがプログラミングの出前講座を取り組みを始めた。地域貢献の一環として、子

育成 モノづくり人材 Vol. 92

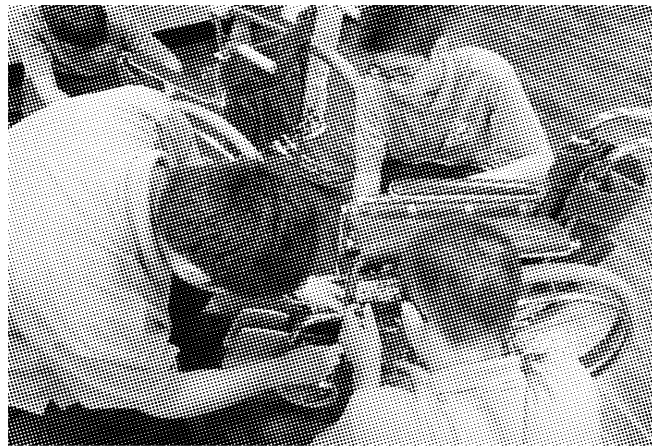
顧客思う精神 植え付ける

られる技能検定は1年を達成している。須釜校長は「目指すも次に3級取得を目指し、卒業までに準1級取得を目標に掲げている。技能検定をはじめ、各種資格などは在学3年間で三つ以上の取得はないこと。同校は15

年、プログラミング専らにもモノづくりやパソコンボード「S kyBerryJA」を販売する一方、教える側にもプログラミングの楽しさを伝える。ハンダ付けなど組み立て後、モジュールに立脚していること。生徒にとつて自信になる「須釜校長」。

また、技能や知識だけでなく、協調性などを磨くため、部活動への参加も積極的に呼び掛け、加入率は約90%を誇っている。

(栃木・前田健斗) (金曜日に掲載)



空飛ぶ車いす活動では22カ国に延べ2000台以上を届けた

が大切。専門知識の下にはその精神が必要だ」と話す。

一方、学内では生徒の学ぶ選択肢を広げる狙いで、19年4月に二つの学科を改編する。現在は二つに分かれる電子科と情報技術科を「電子情報科」に改める。これにより興味や関心、進路に応じた分野の広い学びを実現する。